

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2024年3月15日）

## ■第7版 第1～4刷（2023年12月25日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
2. 乳がん					
274	下から1～2行目	前回投与日から6週以上間隔があく場合は改めて8mg/kgから開始	投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量（A法では4mg/kg、B法では8mg/kg）で投与を行う		22/12/02
付録2 HBV再活性化の対策					
1154	図1キャプション	日本肝臓学会 肝炎診療ガイドライン作成委員会 編「B型肝炎治療ガイドライン（第3, 4版）」, 2021年5月, p78-80 <a href="https://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b.html">https://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b.html</a> (2022年2月参照) より転載	日本肝臓学会 肝炎診療ガイドライン作成委員会 編「B型肝炎治療ガイドライン（第4版）」, 2022年6月, p98-100 <a href="https://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b.html">https://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b.html</a> (2024年1月参照) より転載	転載元は改訂されているため、実際に使用する際には必ず最新版をご参照ください。	24/03/15
1156	注5)c.5行目	治療内容に応じて高感度HBs抗原測定（感度0.005 IU/mL）で代用することを考慮する。	治療内容に応じて <b>迅速診断に対応可能な</b> 高感度HBs抗原測定（感度0.005 IU/mL） <b>あるいは高感度HBコア関連抗原測定（感度2.1 logU/mL）</b> で代用することは可能である。	転載元は改訂されているため、実際に使用する際には必ず最新版をご参照ください。	24/03/15
1156	注7)3行目	また、高感度HBs抗原モニタリングにおいて1 IU/mL未満陽性（低値陽性）の場合は、HBV DNAを追加測定して20 IU/mL以上であることを確認した上で核酸アナログ投与を開始する。	また、高感度HBs抗原モニタリングにおいて1 IU/mL未満陽性（低値陽性） <b>あるいは高感度HBコア関連抗原陽性</b> の場合は、HBV DNAを追加測定して20 IU/mL以上であることを確認した上で核酸アナログ投与を開始する。	転載元は改訂されているため、実際に使用する際には必ず最新版をご参照ください。	24/03/15
1157	文献	1)「B型肝炎治療ガイドライン（第3, 4版）」(日本肝臓学会 肝炎診療ガイドライン作成委員会/編), 2021年5月	1)「B型肝炎治療ガイドライン（第4版）」(日本肝臓学会 肝炎診療ガイドライン作成委員会/編), 2022年6月 <a href="https://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b.html">https://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b.html</a> (2024年1月参照)	転載元は改訂されているため、実際に使用する際には必ず最新版をご参照ください。	24/03/15